

特集 新春のことば

偶 感

岡山県和牛試験場長 林 正 夫

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるということは、幾十年馬令を重ねても、いろいろな意味合いから意義深いものを感じます。

私が和牛試験場をおあづかりして、今年で5回目の正月を迎えるわけです。さて、この間の農業の移り変りはたいへんなもので、しかも、テンポは今なお加速的です。誠に容易ならざることと言わなければなりません。国の政治も県政も、ヒズミの是正を旗印に、ともすれば産業間較差の谷間に置き去りにされそうな農業の振興に懸命の努力を払いつつあります。ことほど左様に農業関係者に課せられた問題は難しく大きいものがあります。

開放経済の下で、国際競争力の最も弱いとされる酪農、飼料高の卵価安に悩む現在の養鶏、生産性の低さをうんぬんされる肉用牛、たえず価格の不安定におびえている養豚、これらのどれ1つを取り上げて見ても、私達の周囲はすべて頭の痛くなるようなことが山積されています。しかも、現状とは裏腹に、畜産は農基法という選択的拡大部門として、将来の伸びが首を長くして待たれるところに、私達は容易ならざる責務を感じる次第です。

さきの県議会本会議で、山下農林部長は当面の農林業対策の4本柱の1つとして、試験研究機関の整備を答弁したのをご承知のことと思います。さて、試験研究機関の使命は、と改めていうまでもなく、行政に化学的裏付けをして、的確な判断の下にタイムリーな施策を打ち樹てるための支えとなること、さらには、試験研究成果は誤りのない効果判定の上に立って、速やかに普及事業というネットワークにのせて農家の庭先へ届けられなければならないことと思っています。このように信じて私達は与えられた範囲で努力を傾注している積りであります。言いわけがましくて恐縮ですが、施設、陣容、予算の各般に亘って、申し分ない条件が揃って与えられたとしても、将来あるべき農業のビジョンに焦点を合わ

せて課題を設定しようと努めても、試験研究——特に大家畜を供試しての——の成果を挙げるには、常に経費と時間の上で制約がつきまとい、ために農林行政のテンポにともすれば遅れ勝ちです。ましてや、施設の面から試験研究以前のものを抱えている和牛試験場をおあづかりしている私としては、誠に火のつく思いであります。

筆の赴くまま勢いグチになったことをおことわりして、次に専門的分野について問題を提起してみようと思います。

昨年10、11月合併号でものした拙文の中に、和牛に関する研究課題を、目下次の3つにしぼって考えていると言いました。即ち、その1つは、和牛経営は企業化しにくく、単位当り生産性も零細であるから、ある程度多頭化して、極力省力管理するよう、そのための施設と技術が要求されること、その2つは、産肉能力のすぐれた肉用牛に改良するための産肉能力検定のこと、その3は、中国山地の和牛子牛生産経営の規模と技術体系確立の急務なこと、の3つをあげました。

第1の問題に関しては、和牛の特質をよく活かして、他の作目では到底立地できない低生産性の山地に拠って、粗飼料主体に、放牧という労働粗放的手段で生産をあげる技術の子牛生産経営で確立することが大事なことと思っています。この時の牛舎やその附属施設は極めて簡素なもので間に合い、農業経営上の1つのネックと言われる資金面でも他の作目より気軽に取り組めることも取り立てられる美点です。さらに、肥育については、大規模経営も可能ですが、これも牛舎その他の施設資金も少く、省力的に取組むことができ、1頭ずつから上がる利潤は少くとも、1人1日50頭以上も飼えば、1日8時間当りに換算したときの労働報酬は驚くほど多いことが理解できます。苦言を呈すれば、和牛飼養農家が新しい施設と技術の導入に、もっと積極的な意欲を

岡山畜産便り 1965.01

もっていただき、私達を活用していただきたいと思うことが甚だ多くあります。今の畜産に、価格対策の裏打ちのほしいことは誰しも認めるところですが、生産者自身としては、誰の手も借りることなくできることで、直接自分達に利益のもどる生産技術の改善に格段の努力を払われることを切望すると言っては片手落ちのそしりを免れないでしょうか。

飼料面からは、粗飼料の利用に研究の眼を向けて、草地については、造成技術よりも、むしろ利用しつつ草生改良し、維持管理する技術を取り入れたいものです。

また、粗飼料の加工貯蔵により、年間をとおして栄養分を均分して利用可能なものとして、サイレージを見直し、その製造と利用方法に注目すべきです。

ここまで書いて来たところ、予定の紙数が尽きました。産肉能力の向上に要点をしばった改良施策とか、子牛生産経営規模と技術体系などにつきましては、またの機会をお借りしたいと思います。

巳年にあたり、私達みんな、へビのようにねばり強く、堅実に進みたいものです。